

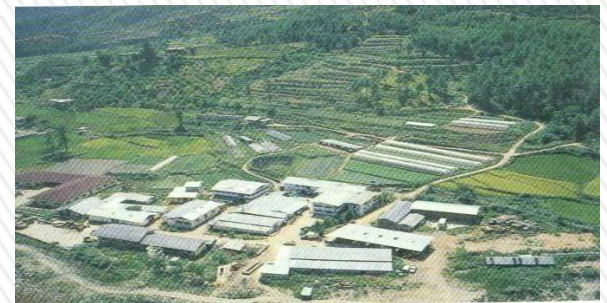
故・西岡京治専門家のブータンにおける活動



- 1964 海外技術協力事業団（現・国際協力機構）のコロナボ計画の農業指導者としてブータンへ赴任。
日本から導入した野菜・果実の栽培や養蚕等、パロを中心にブータン各地で農業生産の拡大に従事。
- 1966 パロ農場完成。野菜の種子の配布、肥料の配布、小型耕運機、脱穀機の貸出し等、ブータン農業の近代化に貢献。
- 1976 シェムガン県開発責任者。貧困撲滅のための農業開発実施。日本から導入した野菜の栽培および品種改良、荒地の開墾に尽力。農業と農民の生活基盤の改善に貢献（～1980）。
- 1980 4代国王よりブータン国で功績のあった人に贈られる最高爵位「ダショー」を受爵（外国人では史上初）。
- 1992 帰国直前、敗血症に罹り、ブータンにて死去（59歳）。



日本から導入した大根の栽培・生産拡大に成功



パロ農場全景（1984頃）